

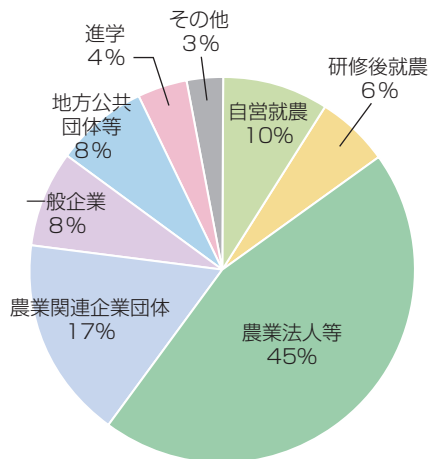
進路資格等

卒業後の進路は、すぐに就農（自家の農業を継いだり農業法人等に就職）する人、あるいは進学や先進農家等での研修後に就農を目指す人、また、農協などの農業団体や農業機械などの農業関連企業に就職する人など様々ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

なお、本校では、無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。

卒業生の進路状況

平成30～令和4年度：101名



資格・特典

- 本校養成課程の卒業生は、人事院規則及び鳥取県人事委員会則に定める「短大2卒」の資格に準じて取り扱われる。
- 本校養成課程は専修学校となっているので、次の3つの特典がある。
 - 卒業生は4年制大学の3年次又は2年次編入試験を受験することができる。
 - 卒業生に「専門士」の称号が与えられる。
 - 日本学生支援機構等の奨学金を受けることができる。
- 本校を卒業後1年以内に独立・自営就農または雇用就農する場合は、在学中に就農準備資金の交付を受けることができる。
- 在学中に、以下の資格試験等を受験・受講することができる。
 - 大型特殊自動車運転免許及びけん引免許（農耕車に限る）
 - 日本農業技術検定
 - 家畜人工授精師免許
 - 食の6次産業化プロデューサー（レベル1・2）
 - フォークリフト運転技能
 - 玉掛技能
 - 小型移動式クレーン運転技能
 - 2級ボイラー一技士免許
 - ガス溶接技能及びアーク溶接特別教育
 - 小型車両系建設機械運転特別教育
 - 危険物取扱者免許
 - 毒物劇物取扱者免許
 - 日商簿記検定 3級

注）①～④は校内で試験・受講、⑤～⑬は校外で実施される講習等に出席し、試験に合格することが必要となります（講習会及び試験の出席は公休の扱い）。

令和4年度卒業生の進路：親元就農3名、研修後就農1名、農業法人等10名、農業関係企業団体7名、地方公共団体等2名、進学2名（うち1名は4年制国立大学3年次編入学）

頑張っています!! 卒業生の声

本校は昭和4年に開校し、長年にわたり農業人材の育成に取り組んでいます。卒業生は県内外で自営農業や農業関係団体・法人などで活躍し、鳥取県の農業発展に様々な形で貢献しています。

大栄西瓜を継承します

坂田 統和 (H30 野菜卒)



実家は北栄町で、100年続く「大栄西瓜」を栽培しています。幼い頃から祖父母や両親の姿を見て自然と農業を継ぐことを決め、農大では色々な野菜を学ぶことが出来ました。卒業後、すぐに親元就農しましたが、まだまだ勉強中です。ちなみに西瓜づくりは自分で5代目となるようです。これからも魅力ある「大栄西瓜」を作り続けます。

農業法人に就農

井上 大嗣 (R1 作物卒)



卒業後、鳥取市の農業法人に入社しました。この法人は、地域の水田を借り受け水稻のほか、アスパラ、白ネギ等を栽培しています。農大では農業の基礎を学びましたが、現地では新しい品目や機械、作業工程等で日々戸惑うことも多いです。学ぶことも多く、やりがいがありますので、ステップアップしていきたいです。

花回廊で花の魅力発信中

足立 花 (H22 花き卒(右側))
山本 瑞稀 (H30 花き卒(左側))



とっとり花回廊の園芸部スタッフとして、自然や植物の美しさに触れながら楽しく仕事をしています。一年を通して、様々な植物の育成や管理に携わり、日々植物の奥深さとやりがいを感じています。学校で学んだ知識や技術を基礎に、夏の暑さや、冬の寒さに負けず頑張ります!

ジョイント栽培を経営の柱に

東地 海也 (H30 果樹卒)



卒業後、2年間の研修を経て、令和3年に、父親と叔父が経営している果樹園の近くで独立自営就農をしました。経営の柱は「新甘泉」のジョイント網掛け無袋栽培で、作業の省力化を図りながら面積拡大していく予定です。日々勉強ですが、父親や叔父に追いつけるよう頑張ります。

和牛で独立自営就農

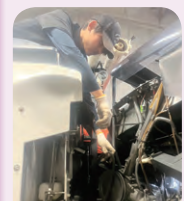
生田 智之 (H30 畜産卒)



卒業後1年間、畜産試験場で和牛繁殖技術を学んできました。令和2年4月に和牛繁殖で新規就農しました。親牛となる雌牛は良い血統が多いのですが、飼養管理が難しく、毎日が勉強です。また、日々の作業に加え、親牛の採卵や種付け、移植等のスケジュール調整も行いながら、発育の良い鳥取和牛を生産できるように頑張ります。

作業受託会社で農家を応援

日野 楼士 (R2 野菜卒)



卒業後、JA関連の作業受託会社に就職しました。鳥取市、米子市で耕耘、代掻き、田植え、防除など稲作に関する作業を引き受けています。徐々に任せられる作業も増えてきましたが、上司や様々な農家さんから作業の方法や考え方を学び、自分に合った効率の良いやり方を日々模索しながら頑張っています。

研修課程 実践研修

社会人等で新たに就農を希望する方を対象に、必要な知識と基本技術・実践技術を習得していただく「スキルアップ研修」の長期研修(1年間)、野菜品目別短期研修(4か月間)の2種類の研修を実施しています。

| 研修名 | 開講時期及び定員 | 専攻 | 主な内容 |
|--------------------|---|----------------------------|---|
| スキルアップ研修 (長期研修) | 4月 10月 2期合計 15名程度 ※果樹は10月 開講のみ | 果樹 野菜 花き 作物 畜産 | <p>★栽培実習を中心とした実践研修で、栽培や農業経営の知識及び技術の習得を目指します。</p> <p>★研修期間中に将来の経営計画を完成します。</p> <p>①実習に講義を組み合わせた体系的なカリキュラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原則、野菜または花き専攻の実習は、希望作物の栽培管理を個別に担当し、その他の専攻ではグループ形式で実習します。 ●養成課程の講義も自由に受講可能で、先進農家視察等の現場研修も実施します。 <p>②就業経験があり、鳥取県内での就農(自営を始める、後継者として親の経営を継ぐ、農業法人等に就職するなど)予定または就農年数の浅い50歳未満の方を対象とします。</p> <p>③受講料が必要です(年間111,600円)。</p> <p>④研修期間は1年間です。</p> |
| スキルアップ研修 (短期研修) | 4月 6月 7月 9月 3月 各期 5名程度 | 野菜 | <p>★鳥取県内で栽培される主要な野菜品目(白ネギ、ブロッコリー、スイカ、ミニトマト)について、品目別に実施する基礎研修です。</p> <p>★グループ実習により、植付準備から収穫までの一連の栽培管理作業を経験できます。</p> <p>★各品目の特性、防除や施肥等に関する基礎知識習得のための座学講義が受講できます。</p> <p>①各期の研修品目は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4・9月開講：白ネギ ●6月開講：ミニトマト ●7月開講：ブロッコリー ●3月開講：スイカ、ミニトマト <p>②鳥取県内での就農(自営を始める、後継者として親の経営を継ぐ、農業法人等に就職するなど)予定または就農年数の浅い65歳未満の方を対象とします。</p> <p>③受講料が必要です(40,000円)。</p> <p>④研修期間は4か月間です。</p> |



研修生検討会



栽培技術の実習



機械操作の実習

アグリチャレンジ学科

農業の基礎知識と実践に活かせる基本技能を中心に学ぶ「公共職業訓練」です。

| 開講時期及び定員 | カリキュラムの内容 |
|------------------------------|--|
| 6月 10月 2月 各期 25名 | <p>①座学講義(鳥取県農業の概要、植物生理、病害虫の基礎、農薬の基礎、肥料の基礎、土壌の基礎、鳥獣害対策、作物栽培、有機・特別栽培、畜産概論、農業経営、農業気象、各種支援策等)</p> <p>②技能演習</p> <p>ア 機械関連 トラクターの操作と耕耘、作業機の脱着とロータリー爪交換の方法、刈払機の取扱い、管理機の取扱い、フォークリフトの操作、農業機械全般の保守点検方法</p> <p>イ 小農具の扱い方 スコップ・鍬・レーキ等の使い方</p> <p>ウ 肥料・薬剤散布のポイント 肥料の手散布の方法、農薬の薬剤量と散布量、散布用機械の取扱い</p> <p>エ 応用作業 ロープワーク、木工・溶接、刃研ぎ、定規縄作り、針金の扱い、パイプハウス測量・組立・被覆・解体、フラワーネットの設置・解体、かん水チューブの設置</p> |



※受講料は無料です。研修期間は約4か月間です。
 ※入校願書の提出先はハローワークですが、研修内容の問合せ先は農業大学校です。
 ※訓練内容は変更になる場合があります。

幅広い県民のニーズに応えるため、農業者を対象としたより高度な研修、園児・学生を対象とした農業体験研修、国際交流研修等、様々な研修を行っています。

| 研修の種類 | 主な研修対象 | 実施時期 | 主な研修内容 | |
|--------------------|---------------------|---------------|---|---|
| 就農研修 | 就農体験研修 | 就農希望者 | 随時 | 栽培、飼養の農作業体験等 |
| | 就農サポート研修 | 農業研修生等 | 4月、7月、12月 | 就農に必要な基礎的知識の学習 大型特殊免許(農耕車限定)の取得 |
| 農業機械研修 | トラクターけん引安全運転研修 | 農業者 就農希望者等 | 11月 | 農作業安全と知識習得と安全なけん引路上走行の運転操作技術の習得と大型特殊けん引免許(農耕車限定)の取得 |
| | 農業体験研修 | 一般県民 | 随時 | 農作業、農産加工などの農業体験、農業大学の施設見学等 |
| 食の6次産業化プロデューサー育成講座 | 6次産業化志向農業者 農業高校生 | 7月、10月 | 6次産業化事業に携わり、商品開発、地域の活性化に貢献するリーダー等の人材育成を目的とした国家戦略・プロフェッショナル検定の育成研修 | |
| 国際農業技術研修 | モンゴル中央県研修生等 | | 日本及び鳥取県の農業技術習得のための実習、視察対応等 | |

頑張っています!! 研修修了者の声

美味しい西瓜を作ります!

北濱 翔大 (R4 スキルアップ(短期研修)修了)



スイカ栽培の基礎を学ぶため受講しました。栽培の知識が全くない状態だったので、スイカの生理生態や栽培管理作業を学びました。研修生だけでハウス1棟を担当し、定植から収穫まで経験するなど充実した4か月を過ごす事ができました。また、講義では農薬や肥料についても学び、知識が身につきました。今後は、少しでも早く父の栽培技術に追いつき、美味しいスイカを作りたいです。

念願の梨農家として営農を開始!

安藤 翔馬 (R1 スキルアップ(長期研修)修了)



東京で生まれ育ちましたが、子供の頃から祖父母の梨畑で遊んでいたこと、学生時代に収穫を手伝ったことがきっかけで、新規就農を志し、スキルアップ研修を受講した後、自営就農をしました。研修中から地域や生産部の仲間とのつながりを大切にしています。現在、新技術のジョイント仕立てを取り入れて、早期成園化と作業の省力化を模索しています。

雇用就農で充実のライフワーク!

坂口 一樹 (R2 アグリチャレンジ科修了)



農業に興味を持ち始めたのは、妻の出産を機に、自分の周囲の環境や子どもと過ごす時間を改めて考えたからでした。アグリチャレンジ科では農業の基本的な技術や知識を学び、花壇苗を生産している北栄町の農業法人に就職しました。今は、家族と花や野菜を育てる時間も持て充実しています。今後は、会社の花壇苗を手にした人の生活が華やかになるような仕事をしていきたいです。

充実した施設

どの施設も明るく開放的な空間です。自然豊かな、最高の環境のもとで勉強することができます。

大教室



交流ホール



体育館



図書コーナー



食堂



円形広場



学生寮(個室、希望入寮制)



研修用宿泊施設



農業大学校 本館全景



学生寮(女子)

学生寮(男子)

食堂

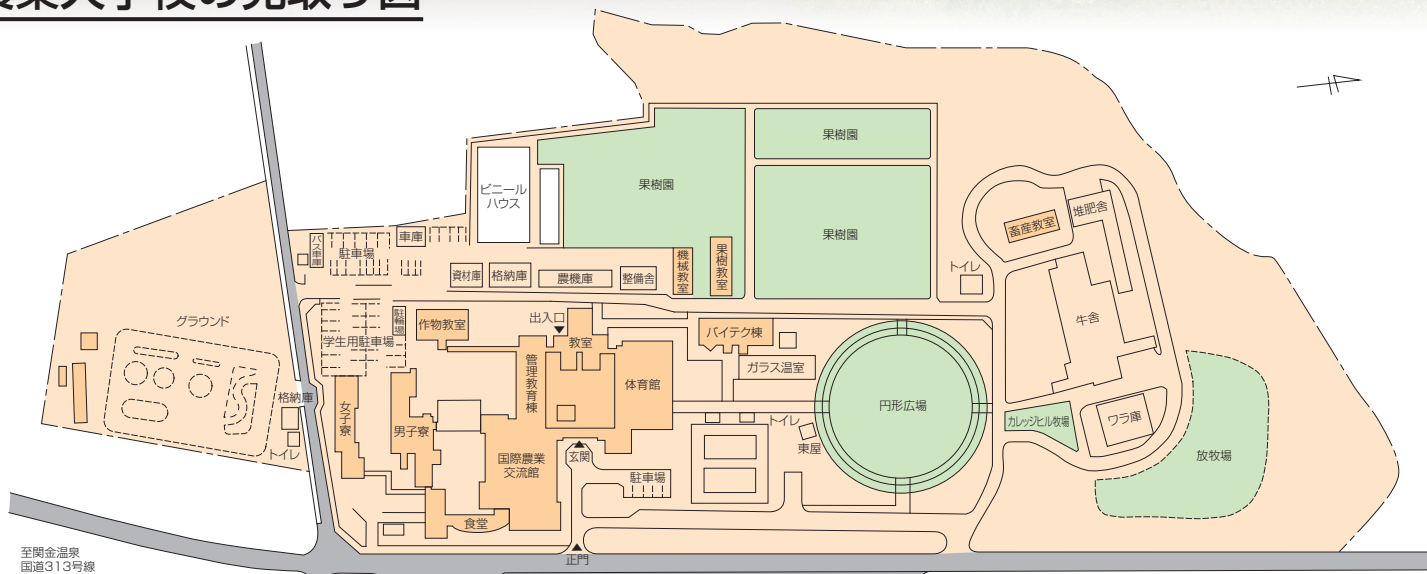
国際農業交流館

シンボルタワー

管理教育棟

体育館

農業大学校の見取り図

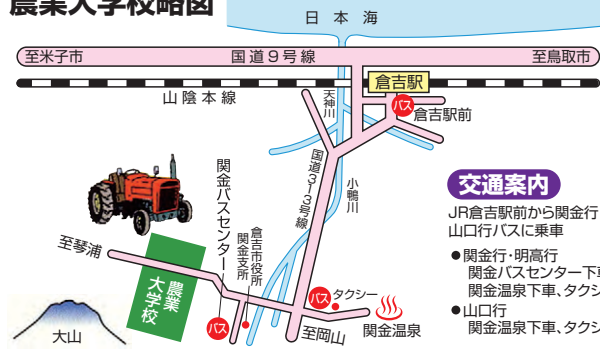


至関金温泉
国道313号線

至琴浦町

| 敷地面積 | | 栽培面積・飼養頭数 | |
|-------------|--|------------|--------|
| 178,971㎡ | | ※令和4年度現在 | |
| 主な施設 | | 果樹：ナシ | 62a |
| 管理教育棟 | | カキ | 11a |
| 学生寮(男子寮) | | ブドウ | 11a |
| 学生寮(女子寮) | | リンゴ | 7a |
| 食堂 | | 野菜：ガラス温室 | 428㎡ |
| 体育館 | | フィルム温室 | 350㎡ |
| 国際農業交流館 | | ビニールハウス | 1,550㎡ |
| 農業機械関係施設 | | 露地畑 | 38a |
| 野菜・花き関係施設 | | 花き：ガラス温室 | 340㎡ |
| 畜産関係施設 | | ビニールハウス | 1,005㎡ |
| バイオテクノロジー棟 | | 作物：水稲 | 179a |
| 温室 | | 畜産：乳用牛 | 20頭 |
| 果樹現場教室 | | 肉用牛 | 20頭 |
| 機械現場教室 | | 飼料畑 | 525a |
| ガラス室・育苗ハウス等 | | 研修：ビニールハウス | 930㎡ |
| 農業学習館 | | 露地畑 | 28a |
| 牛舎・放牧場 | | | |
| トラクター練習コース | | | |
| グラウンド | | | |
| 円形広場 | | | |

農業大学校略図



交通案内

- JR倉吉駅前から関金行・明高行
山口行バスに乗り
- 関金行・明高行
関金バスセンター下車、徒歩20分
関金温泉下車、タクシー3分
 - 山口行
関金温泉下車、タクシー3分

鳥取県立農業大学校

〒682-0402

鳥取県倉吉市関金町大鳥居1238

電話 (0858) 45-2411

ファクシミリ (0858) 45-2412

E-mail : nogyodaigaku@pref.tottori.lg.jp

URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>



(令和5年3月版)